愛努民族的信仰與儀禮

アイヌ民族の信仰と儀礼
The Belief and Rituals of Ainu

文・圖 | Mokottunas 北原次郎太
（北海道大學愛努族・先住民研究中心准教授）

譯者 | 陳由瑋（政治大學民族學系博士生）

文責・図 | Mokottunas 北原次郎太
（北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授）

2013年迄今產官學合作舉辦的irankarapte活動標誌。設計概念結合了愛努語與愛努紋樣。以愛努語的您好打造北海道的當地特色。（圖片來源:「イランカラッテ」キャンペーン推進協議 http://www.irankarapte.com/）

2013年から始まった「イランカラッテ」キャンペーンのロゴマーク。アイヌ語とアイヌ文様を組み合わせたデザインを使用し、アイヌ語の「こんにちは」で北海道の特色を押し出している。（出典：「イランカラプテ」キャンペーン推進協議会 http://www.irankarapte.com/）

在来的なアイヌの信仰はアニミズム的な特徴をもつ。シャマニズムも行われるが、シベリアの諸文化に比べシャマンの関与する範囲は小さい。聖典や教団のようなものはなく、信仰や儀礼は家庭や地域社会の中でゆるやかに維持されてきた。アイヌの信仰を知るために、ここではramat（霊魂）とiyomante（霊送り）をキーワードとして取り上げる。

ramat（霊魂）とは

ramat（霊魂）とその不滅性は世界観の基礎となる観念である。動植物や地水火風など人間が知覚できる物質・現象にはramatが宿

愛努民族的在來信仰具有泛靈信仰的特徵。雖然愛努民族也會進行薩滿儀式，但相較於西伯利亞各地文化，愛努族與薩滿信仰的相關範圍較小。愛努族沒有聖典或教團組織，其信仰或儀禮則在家庭或地區社會以較為鬆散的方式一路維持下來。為使讀者能了解愛努民族的信仰，在此，我舉出ramat（靈魂）與iyomante（送靈）這兩個關鍵字說明。

所謂的ramat（靈魂）

愛努族的世界觀基礎建構於ramat（靈魂）與其不滅性這兩個概念。動植物或風火地水等人類可知覺的物質、現象皆有ramat寄宿

っている。それらは（どんなものに宿っているにせよ）人間の姿をしている。彼等のうち人間に一定以上の影響力を持つ者をkamuyと呼ぶ。流行病や飢饉を起こす神など、しばしば多数の人間を死なせる者もkamuyとよび、また有力な人間をkamuyと呼ぶこともある。このことからも、kamuyは一種の敬称であり、この言葉を用いて呼びかけることで相手と良好な関係を築き、たとえ病魔であっても祭ることで人間の祈願を伝え、リスクを最小限にしようとする意志がうかがえる。

精霊達は天空や深山あるいは海の彼方など異世界の住人であり、それぞれの世界で社会を形成している。そして人間界を訪問する際に、クマの神ならクマの衣装を、樹木神なら樹木の衣装をまとい、自然物に姿を変えて現れるのである。

これら動植物の衣装（＝身体）は、霊魂が一時的に宿るものであるから、人間に譲渡することもできる。自然界から得られる資源はこうした精霊たちの衣装だと語られる。様々な生活用具を生む樹皮は樹木神の衣服、火や陽光を暖く感じるのも火神や太陽神の衣服に包まれるためだとされる。

Inawという供物

一方、こうした恩恵に対し、人間は返礼として祈りと供物を捧げる。inawと呼ばれる木製品を立てて祭壇とし、酒や穀物、煙草を捧げる。

在其中。這些靈魂（無論它寄宿在怎樣的東西內）皆呈現出人類的型態。這些靈魂之中對人類具有一定影響力的則被稱為kamuy（譯者註：kamuy是愛努語，意為「神」）。kamuy是一種敬稱。藉由使用並呼喚這個字可與對方建立良好關係，即使對方是病魔，我們也可窺視出愛努民族會透過舉行祭儀，傳達人們祈禱的方式，以求將對方造成的風險抑止至最小程度的意圖。

精靈們住在天空或深山或是海的另一端等不同的世界，並且在各自的世界中形成社會。精靈們造訪人類世界時，熊神會穿上熊的衣裳、樹木神則會穿上樹木的衣服，化變為自然存有的型態後才會現身於人類世界。

上述這些動植物的衣服（＝身體）因為是靈魂暫時寄居的物質，所以也能讓與給人類。可以說從自然世界中所獲得的資源即為這些精靈的衣服。做為各種生活用具的樹皮是包覆樹木神的衣服，能讓人感到溫暖的火或陽光也是火神或太陽神所穿的衣服。

稱為inaw的供品

另一方面，人類對於這些恩惠，則是獻上祈禱與供品作為回禮。愛努人會豎起稱為inaw的木製品作為祭壇，並供奉上酒或穀物、菸草。

生活の中で儀礼が行なわれる場面

冠婚葬祭	出産、養子縁組、命名、結婚、新築、葬儀、先祖供養
漁労	漁期初め、漁期終り、初サケ祭、カジキ霊送り
狩猟	家を出る前、山に入る前、帰宅後、クマ穴の前で、仕留めた後
	霊送り、矢の印を変えるとき
採集	家を出る前、山に入る前、採集後、帰宅後
農耕	種まき前、風を呼ぶ・止める、雨を呼ぶ・止める
その他	遠出の前後、新年、新月、戦争、けが、流行病、
	災害（地震、津波、日食）、雪を止ませる、シャマン儀礼

漁 労

漁期初め・漁期終わり：

魚類の中には回遊や遡上によってとれる季節が決まっているものがいますので、そのシーズンが始まるときと終わるときに儀礼をします。

初サケ祭：

鮭は秋頃に川に遡上します。その年に最初にとれた鮭を賓客として祈りを捧げます。他の多くの鮭が後に続いてやってくるようにという豊漁祈願の意味もあります。

カジキ霊送り：

カジキという大きな魚を捕えると、その霊魂を神の世界へ送り返します。こうすることによって神は神界で復活し、また人間の許へ来るとされます。

狩 猟

家を出る前：

事の安全と成功を、火の神に祈ります。

山に入る前：

山での安全と成功を願って、山の神々に祈ります。

矢の印を変えるとき：

矢には個人や家によってきまった印が付いています。これには宗教的な意味があり、何かの事情で変更する時には印の神に祈ります。

生活中會舉行儀禮的情況

冠婚喪祭	生產、收養、取名、結婚、新居落成、葬儀、祖先供奉
漁撈	漁季開始、漁季結束、初鮭祭、送旗魚靈
狩獵	出門前、入山前、回家後、在熊穴前、設機關後
	送靈、變更箭矢的標記時
採集	出門前、入山前、採集後、回家後
農耕	播種前、呼風・止風、喚雨・止雨
其他	遠征前後、新年、新月、戰爭、受傷、流行病、
	災害（地震、海嘯、日蝕）、讓下雪停止、薩滿儀禮

漁 撈

漁季開始、漁季結束：

因魚類之中會有魚類會洄游或朔流而上，因此捕獲的季節是木固定，所以會在該季節開始與結束時舉行儀禮。

初鮭季：

鮭魚會在秋季時朔溪而上。該年首次捕獲的鮭魚會被當作賓客而獻上祈禱。也有寄望之後能有更多的鮭魚緊接而到的豐收祈願意涵。

送旗魚靈：

若是捕到旗魚這樣的大魚時，要將其靈魂送返神的世界。如此一來，神則會在神界復活後，再度來到人類的身邊。

狩 獵

出門前：

向火神請求工作安全與成功。

入山前：

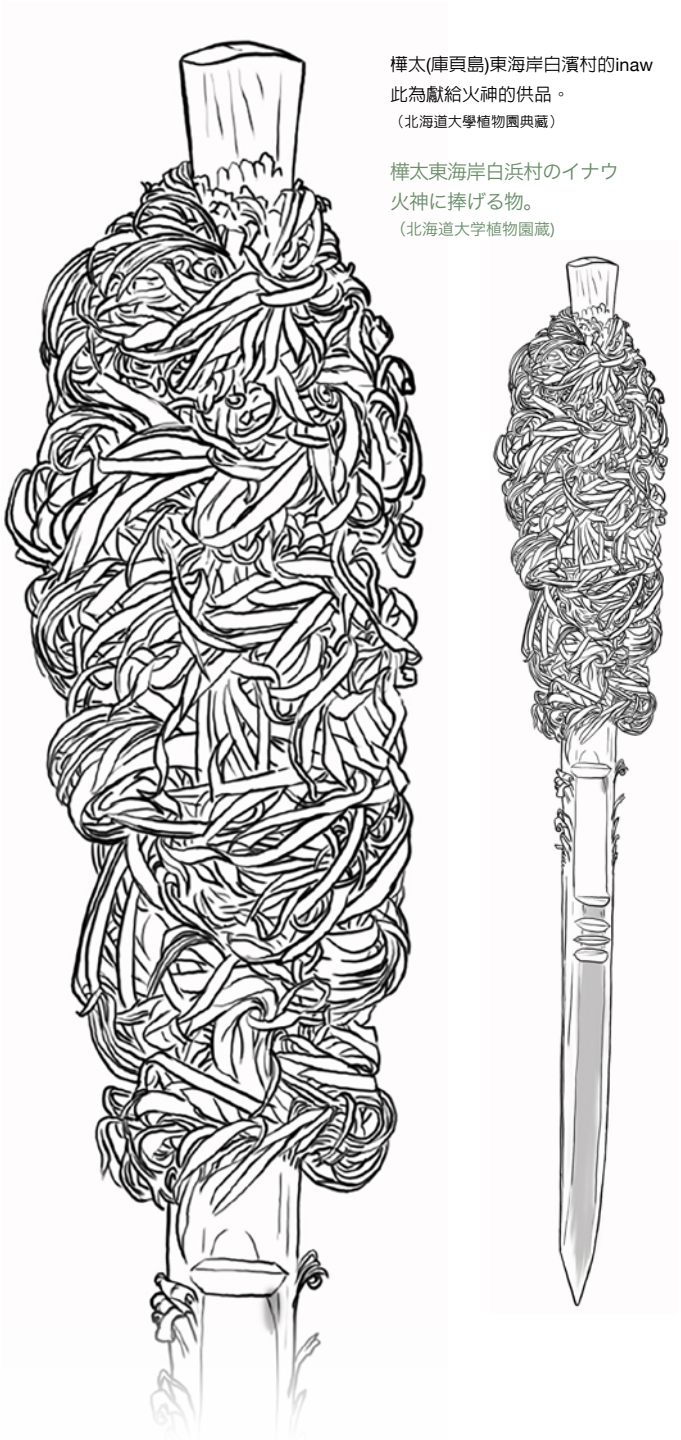
向山中的衆神祈願，祈求山中的安全與成功。

變更箭矢的標記時：

箭矢會附有由個人或家庭所決定的標記。此有宗教性意涵，因某些事由進行變更時會向標記的神明祈禱。

inawは木を薄く削ってリボン状にした房飾りのようなもので、類似の形状の物が大興安嶺や黒竜江河口部、サハリンを含む日本列島全域（北九州と琉球を除く）、マレーシアやハンガリーなどユーラシアと周辺諸地域に見られる。台湾では平埔族の資料に似た物がある（国立民族学博物館所蔵）。形はよく似ているものの、それぞれの地域の文化と適合する形で受容され、用途や使用頻度は様々である。アイヌ文化では、神々が最も喜ぶ奉納品とされ、1年を通して頻繁に作られる。

Inaw是將木頭削薄成緞帶狀，造型近似流蘇飾品，包括大興安嶺或黑龍江河口、庫頁島，日本列島全區（除北九州與琉球外）馬來西亞或匈牙利等歐亞大陸與周邊各地區都看到類似形狀的東西。台灣的話則是在平埔族資料中有類似的東西（國立民族學博物館典藏）。雖說形狀上十分類似，但各地將其調和成適合各地地區文化的形式後使用，用途與使用頻率也各有不同。Inaw在愛努文化中則被視為眾神最喜愛的貢品，一整年中製作機會頻繁。



樺太(庫頁島)東海岸白濱村的inaw
此為獻給火神的供品。
（北海道大學植物園典藏）

樺太東海岸白浜村のイナウ
火神に捧げる物。
（北海道大学植物園蔵）

北海道東部音更町的inaw
此為獻給火神的供品。（北海道大學植物園典藏）

北海道東部音更町のイナウ
火神に捧げる物。（北海道大学植物園蔵）

献酒儀礼

酒類はサハリンを経由して北方からと、南方からの経路で流入したとされ、今日良く知られている製法は穀物と麹を使う日本の酒造によく似ており、儀礼用の酒器類も日本製の漆器が広く用いられている。漆器類は交易などによってもたらされ、しばしば非常に高価である。アイヌの周囲にも献酒儀礼を行なう文化は多いが、アイヌ文化に特有の祭具としてikupasuyがある。

獻酒儀禮

酒類則是從北方經由庫頁島傳入以及從南方的途徑流入，今日較為人熟知的製法是類似日本製酒法，使用穀物與酒麴製造。儀禮用途的酒器也廣泛使用日本製造的漆器。漆器類則是透過交易等方式取得，其價格往往也最為昂貴。愛努周邊文化很多也會進行獻酒儀禮，但愛努文化中的ikupasuy為愛努特有的祭器。

右手拿ikupasuy，
左手拿酒杯進行祈禱的男性。

右手にikupasuyを、
左手に酒杯を持って祈る男性。

ikupasuyはアイヌの男性が自製するヘラ状の木製品で、様々な装飾模様が彫り込まれている。ikupasuyの機能は、神酒を届ける事と、祈願者の祈りを補って神々に伝えることである。inawやikupasuyは木製品であるため、あまり古い資料は確認できない。文献資料では、inawは1356年の『諏訪大明神絵詞』、ikupasuyは1565年のルイス・フロイスの書簡が初出である。

iyomante（霊送り）とは

一般的な儀礼を専門的に行う宗教職能者はいない。比較的改まった儀礼では男性が前面に出るが、日常の細々とした儀礼は各人が執り行う。

儀礼の中で、最も期間が長く規模も大きいのはiyomante（クマの霊送り）である。霊送りとは、生業で得た動植物の霊魂をinawや酒、料理などの供物とともに神界へ送り出す儀礼である。送られた霊はこれらを神界で分配し人間界での歓待ぶりを伝えるとされる。霊送りは、ごく簡素なものを含めれば様々な動植物に対して行われる。中でも子グマを飼育した後に行う霊送りは、供物を大量に用意するほか、儀礼の執行者を他村から招くなど、もっとも大掛かりなものであり、社会的な機能やより古い時期の動物儀礼との関連など様々な観点から注目されている。

Ikupasuy是愛努男性自製的扁平柱狀木製品，並雕刻上各種裝飾紋樣。Ikupasuy的功能是送上神酒與輔助祈願者的祈禱傳達給眾神這兩件事。因為inaw或是Ikupasuy都是木製品，較久遠的資料樣本則難以追溯確認。以文獻資料來看的話，inaw首次記載出現於1356年的《諏訪大明神繪詞》，ikupasuy則首次出現於1565年傳教士路易士·佛洛伊斯（Luís Fróis）的書信之中。

所謂的iyomante（送靈）

一般性的儀禮並無專門負責進行的宗教職業者。相較之下特別的儀禮則由男性帶頭進行，但日常生活中較為瑣碎的儀禮則由個人自行執行。

儀禮之中，為期最長也是規模最大的則是iyomante（送熊靈）。所謂的送靈是將生計活動中所獲得的動植物靈魂，用inaw或酒、菜餚等供品陪同靈魂送至神界的儀禮。被送走的靈魂會將這些供品在神界進行分配，並會告訴其他神靈自己在人類世界中受到款待。送靈的對象小至十分不起眼的東西大到各式各樣的動植物都有。其中飼養小熊後所進行的送靈，除了要大量準備供品外，還要從其他村落邀請儀禮的執行者等規定要遵守，是最為費工的儀禮，目前研究者們則從各種觀點關注此項儀禮，例如從社會性功能或從與更久遠時期的動物儀禮關聯性的觀點。

近代に入りアイヌが日本国民に統合されると、信仰の面でも日本政府から直接間接に規制を受けた。葬儀の際の慣習やiyomanteが禁じられたこと、祭具を作るための素材が入手困難になったことはその一例である。復興の動きは1970年代から起こり初め、多くの困難を抱えながらも今日も努力が続けられている。◆

進入近代後愛努民族被編入整合為日本國民，其信仰層面則受到日本政府直接與間接的規範。傳統葬禮時的習慣規定或iyomante皆遭禁止、製作祭器的材料難以取得等事情可說是不勝枚舉。復興活動起始於1970年代，雖然愛努民族面臨眾多的困難，但至今仍持續不懈地努力當中。◆

作者簡介｜プロフィル

Mokottunas 北原次郎太

1976年東京都で生まれ、埼玉県で育ち、関東在住のアイヌ民族団体、関東ウタリ会に所属し、アイヌ文化に触れながら育つ。北海学園大学で学士、千葉大学大学院で修士・博士号を取得。白老町の（一財）アイヌ民族博物館で学芸員として勤務したあと、２０１０年より北海道大学アイヌ・先住民研究センターに勤務。祭具の機能と形状や、神観念、シャマニズムなどを専門とする。他に、祖母の出身地である樺太（サハリン）西海岸の言語・文化を中心に、アイヌ民族の工芸、芸能、口承文芸、アイヌ語などを研究。アイヌ語や芸能、儀礼の分野で復興運動に参画し、次世代の育成にも取り組んでいる。著書に『アイヌの祭具　イナウの研究』（北海道大学図書刊行会、2014）、今石みぎわとの共著『花とイナウ―世界の中のアイヌ文化―』（北海道大学アイヌ・先住民研究センター、2015）、アイヌ語テキスト『中級アイヌ語　樺太』（アイヌ文化振興研究推進機構、2014）など。

Mokottunas 北原次郎太

1976年東京都出生，成長於埼玉縣。為關東在住的愛努民族團體、關東UTARI會成員從小接觸愛努文化長大。為北海道大學學士、於千葉大學研究所取得碩士、博士學位。曾任職於白老町的（一般財團法人）愛努民族博物館擔任館員。之後2010年起任職於北海道大學愛努・先住民研究中心。研究的專業領域為祭器功能與形狀、神觀、薩滿信仰等。其他則以祖母出身地樺大（庫頁島）西海岸的語言、文化為中心，進行愛努民族的工藝、藝能、口承文藝、愛努語等研究。參與愛努語、藝能、儀禮領域的復振運動，並致力於培養下一個世代。著作有《愛努族的祭器 inaw的研究》（北海道大學圖書刊行會，2014）、與金石Migiwa共著《花與inaw—世界之中的愛努文化—》（北海道大學愛努・先住民研究中心、2015）、愛努語講義《中級愛努語 樺太》（愛努文化復興研究推進機構、2014）等。

※UTARI為愛努語，意指同胞之意。